
**パンカクは、先進的で付加価値の高いアプリケーションを
高い生産性によって多くの人に提供する会社です。**

パンカクは、プログラミングによって社会に価値を提供する会社です。

高い生産性の実現のために将来有望な技術・サービスを積極的に採用し、トンガることで、変化に即応できる機動力と高い付加価値と高い生産性の両立を目指します。

フロンティアにいち早く参入し、その市場の拡大と共に企業の成長を目指します。日本初ではなく日本発世界初、日本一ではなく日本発世界一を目指し、世界を視野に入れた事業展開を行います。

パンカクの現在のテーマは、「多くの人々の知識と知恵の充実に貢献する」です。

パンカクは、プログラミングによって社会に価値を提供する会社です。

→どういうこと？

「今までこの世に存在していなかった何か」を作るとは、掛け値なしで素晴らしいことだと考えています。作り手がいなければ世界は何も変わりません。「作り手」には大工、画家、作曲家、工場の工員、食堂のおばちゃんなど様々な種類の人がありますが、パンカクでは、世界中の人々の生活を一変させ得るも

のをごく少人数でも生み出すことができる「プログラマー」の可能性をフルに引き出し、社会に価値を提供していきたいと考えています。

アプリケーションは、プログラマーの意図を隅々まで行き渡らせることのできるいわば一つの理想的な世界です。その世界においてプログラマーが果たす役割は神と等しく、多少の制約とほぼ無限の自由度の中で全てをコントロールできる世界を創造するプロセス（＝プログラミング）は非常に楽しいものです。

パンカクは社長をはじめ、社員の多くがプログラマーで、皆プログラミングを楽しみながら様々なアプリケーションを作っています。

将来有望な技術・サービスを積極的に採用します。

→どういうこと？

「将来性が不明確な要素が多いが従来よりも高い生産性・高い付加価値が見込めるような新技術・新サービス」を積極的に活用します。時にはハズレもあると思いますが、現状に満足せず、早い学習スピードとより高い生産性を常に追い求めていく姿勢を最も重視します。

情報技術関連の技術革新はすさまじく早いため、過去の技術・サービスの取り扱いに習熟するよりも、最新のツールをいち早く使いこなすことの方が生産性の最大化に寄与すると考えています。

トンガることで、変化に即応できる機動力と高い付加価値と高い生産性の両立を目指します。

→どういうこと？

強化するべきところは徹底的に強化し、切り捨てるべきものはバツサリと切り捨てることで、日々変化する最先端分野に常に挑戦し続けられる体制を構築します。

強みを明確にすることで専門性を身につけ、高い付加価値と高い生産性の両立を目指します。強みになりうるものは積極的に学習・習得し、付加価値を生まないものは切り捨て、既製品や外部のリソースを有効活用します。創意工夫を必要としないルーチン処理はシステム化し、明快なルールの上で運営します。

フロンティア（未開拓で供給が少ないが将来的に大きな需要が見込まれる市場）にいち早く参入し、その市場の拡大と共に企業の成長を目指します。

→どうということ？

フロンティア（未開拓で供給が少ないが将来的に大きな需要が見込まれる市場）にいち早く参入し、その市場に関する知識・経験をいち早く蓄積します。市場が小さな段階であれば、少人数でも市場に対して大きなインパクトを与えることができます。その後市場が拡大すれば、結果として社会全体に与えるインパクトが大きくなるため、積極的にフロンティアへの参入を狙います。

日本初ではなく日本発世界初、日本一ではなく日本発世界一を目指し、世界を視野に入れた事業展開を行います。

→なぜ？

ウェブサービスやアプリケーションなどの情報技術を活用した製品の場合、物理的制約が少ないため、少ないコストで世界展開をすることが可能です。より大きな消費者のマーケットに製品を提供し、より大きな人材のマーケットの中からより良い人材を選択するためには、日本だけでなく世界も視野に入れる必要があります。

地域固有の事情に守られたマーケットで勝負するのではなく、全世界の人の根源的なニーズに合致するようなモノづくりを心がけることで、コミュニティであればネットワークの外部性が働き、製品であれば規模の経済性が働き、より有利に競争を進めることができるようになります。

世界第二位の経済大国。東京という世界屈指の大都市の存在。優秀な人間の層の厚さ。インターネットインフラ、携帯インフラ、ポップカルチャーやサブカ

ルチャーの充実など、世界と比べて日本が優れている点というのはたくさんあります。

世界中に存在する素晴らしいものを存分に活用しながら、日本が世界のどこよりも先じている分野の中でさらにその先端を行き、世界のマーケットを席卷できるようなアプリケーションを作りたいと考えています。

パンカクの現在のテーマは、「多くの人の知識と知恵の充実に貢献する」です。

→なぜ？

知るという行為は無限です。多くを知れば知るほど、「自分がまだ知らないこと」が沢山あることを知り、世界の広さ・奥深さを知ります。知るという行為自体が喜びであり、その喜びを得る過程に苦勞が伴わず、そして尽きることがないとしたら、こんなに嬉しいことはありません。

時として、知るという行為は不満足を増やすことにもつながります。始めから選択肢の存在を知らなければ不満足も存在しませんが、「選択したくても選択することができない選択肢の存在」を知ったときに人は不満足を感じます。

そしてその不満足こそが明日を創造する力であり、社会を変革・発展させる力だと考えています。現状に満足して思考停止するのではなく、現状の恵まれている点については感謝しつつも理想と現状との差に注目し、その差を埋めるべく日々行動するべきだと考えています。

パンカクは、多くの人に「自分の知識・知恵の公開・伝達手段」、「他者の知識・知恵を入手する手段」、「膨大な知識・知恵を整理する手段」を提供することで、多くの人の知識と知恵の充実に貢献します。